

令和6年度 福島県介護労働懇談会の開催 (福島支部)

開催日時：令和6年10月21日(月) 14:30-16:30

テーマ・議題

- 令和5年度介護労働実態調査結果(福島版)報告
- 介護生産性向上総合相談センターについて
- 共有情報・取り組みの紹介、意見交換

参加機関

福島労働局職業安定部、福島公共職業安定所、福島県保健福祉部、福島県商工労働部、福島市健康福祉部、福島県老人保健施設協会、福島県老人福祉施設協議会、福島県養護軽費老人ホーム・ケアハウス連絡協議会、福島県認知症グループホーム協議会、福島県介護福祉士会、福島県社会福祉協議会、国際医療看護福祉大学校、高齢・障害・求職者雇用支援機構福島支部、福島県小規模多機能型居宅介護事業連絡会、しらかわ介護福祉専門学校、ふくしま医療機器産業推進機構介護生産性向上総合相談センター

会議風景 (福島テルサ3階「あぶくま」)



主な内容

- 令和5年度介護労働実態調査結果の報告（介護労働安定センター福島支部）
 - 福島県の1年間における採用率は令和4年度に若干上昇したが令和5年度に再び減少、離職率は全国平均に比べて低い水準にある。しかし、採用率と離職率の差は-0.4ポイントと、全国平均の+3.8ポイントに対して大きく下回っており、福島県では厳しい状況が続いている。
- 介護生産性向上総合相談センターについて(ふくしま医療機器産業推進機構)
 - 今年7月に福島県の総合相談センター開設、取り組み概要と最新情報を共有いただき、意見交換した。
- 懇談会メンバーの取り組み・トピックス等の共有
 - 県内の有効求人倍率は1.24倍。新規求人人数では前年同月比で下回る月が多くなっている。介護関連職種の有効求人倍率は3.36倍、県内全域で2倍以上となっており、会津が4.11倍ともっとも高い。(福島労働局)
 - 介護イメージアップ、人材マッチング、人材確保、人材育成、人材定着の5本柱で取り組んでいる。「介護事業者認証制度」を現在構築中。令和7年度の開始に向けて今年度末に説明会を行う。(県社会福祉課)
 - 外国人受入れ環境整備事業として「福島県外国人介護人材サポートセンター」を開設した。離職が多い理由に「東京では特定技能外国人への家賃補助がある」など、敵わない。(県老人福祉施設協議会)
 - 毎回、養成校の応募状況が厳しいと話しているが、今年4月の入学者は1桁。(国際医療看護福祉大学校)

参加団体からのお知らせ

◇今回、オブザーバー出席の「福島県小規模多機能型居宅介護事業連絡会」「白河介護福祉専門学校」から、ご挨拶と取り組みをご紹介いただいた。

事務局（介護労働安定センター福島支部）からお知らせ

◇第28回「介護労働シンポジウム」を11月14日(木)に開催する。動画配信も予定しているので確認いただきたい。